

意義と目的

意義 >

「千数百年の時と場所を 越えての孫権との対話」

三国時代の英雄・孫権の眠るお墓を訪れ、それぞれのやり方で孫権を偲ぼう。

孫権の在りし日の姿に、しみじみと思いを馳せてもよし。三国志の話題に盛り上がるもよし。孫権墓に、孫権への思いの丈をぶつけるもよし(大騒ぎしてはいけません)。

「21世紀の日本にも、あなたを応援する人はこんなにいるんですよ!」と報告するもよし。「貴方の酒乱は、後世まで語り伝えられていますよ」でも「貴方の生き方に感銘を受けました!」でも「権ちゃんって呼ばせてもらってますv」でも「お兄ちゃんに宜しく」でも何でもよし!

孫権に語りかけてしまおう。そして、それらの孫権への思いは千数百年の時も国境も乗り越えて、孫権に通じる...はず!

目的 >

「孫権墓を有名にする！」

呉の初代皇帝・孫権。(影が薄いと言われがちだが)まぎれもなく三国志を彩る英傑の一人であり

その偉業と人間的魅力は、(一部の)人々を惹きつけて止まない。

だが！ 孫権墓は地元・南京ではそれほど大きく扱われていないらしい…。

歴史上の英雄の扱いとしては、寂しい限りである。寂しすぎるぞ、孫権！

ならばせめて日本でだけでも盛り上げてあげよう！ 大いに孫権墓を取り上げ、その存在を日中両国に知らしめるのだ！



絵・PONSUKE